

お子さんにスマホを買い与える前に ～スマホの危険性を理解しましょう～

インターネットトラブル事例

● SNSやネットで知り合った人による性被害犯罪

SNSは趣味が合う良い人だったのに



Tさんは、同じアイドルのファンの女子とSNSでよく話をしていました。ある日、「ライブのチケットが余分にあるから一緒に行こう！」と誘われました。

実際に会うと見知らぬ怖い人だった



「同じ趣味や話が合う人に悪い人はいない」と考え、実際に会ってみたいと思う青少年が増えています。でも相手が本当のことと言っているとは限らず、会つたために事件やトラブルに巻き込まれるケースが増えています。

リアルな生活だけでは出会えなかった人と知り合えるようになった今、男女共に、投稿内容の過信は危険だということを最認識させましょう。

● SNSによる誘い出し

ネットで出会った相談相手に会いに行き



*DMは「ダイレクトメッセージ」。SNSの画面上ではなく、直接メッセージをやりとりすること。

辛いことが続き、SNSにつぶやいていたWさん。気持ちが落ち込んでもメッセージをくれる人に出会い、DMでやりとりするうちに、会いに行くことになりました。

そのまま連絡がつかなくなってしまった

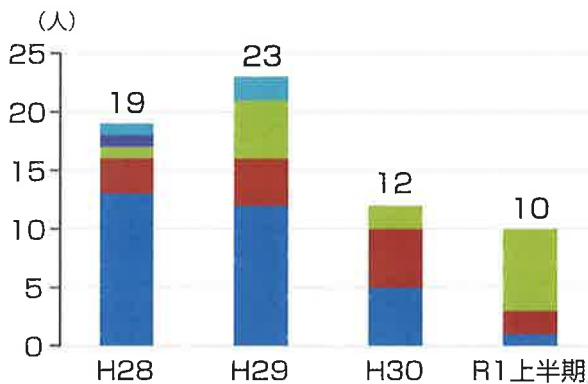


成長過程で生じる不安定さとリスク志向を利用して近づいてくる危険な大人がいます。ネットで知り合った人に深入りしないよう「ここまで！」の限界を話し合い、意識して使うことの安全性を理解させましょう。

子どもの言葉に耳を傾け、気持ちに寄り添い、相談できる関係を保つことが最善の予防策です。

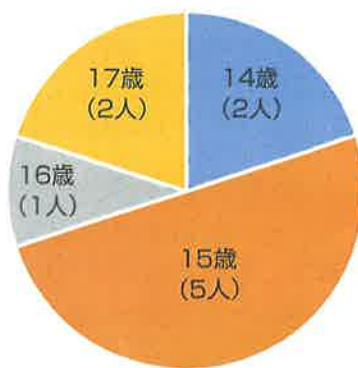
出典：総務省発行「インターネットトラブル事例集（2018年度版）」

SNSに起因する県内の子どもの性被害の状況



- 重要犯罪
- 児童福祉法違反
- 児童買春
- 児童ポルノ
- 富山県青少年健全育成条例違反

年齢別被害児童数（R1上半期）



「買う前」「使い始め」が重要！

違法・有害な情報からお子さんを守るために ～フィルタリングを必ず利用しましょう～

法改正で、18歳未満は「購入・機種変更時のフィルタリング有効化」が義務に

青少年インターネット環境整備法*（平成21年4月施行／平成30年2月改正法施行）

携帯電話会社や格安スマホ会社（MVNO）とその契約代理店には、新規の携帯電話回線契約時および機種変更・名義変更を伴う携帯電話回線契約の変更・更新時に、次のような義務が課せられています。

青少年確認

契約締結者又は携帯電話端末の使用者が18歳未満かどうか確認する

フィルタリング説明

①青少年に有害な情報の閲覧による危険
②フィルタリングの必要性とその内容について保護者又は青少年に説明する

フィルタリング有効化措置

契約とセットで販売される携帯電話端末等について、販売時にフィルタリングソフトウェアやOSの設定を行う

これに伴い、子供の利用状況を適切に把握すると共に、18歳未満が使用者である旨を申し出ること、フィルタリングの説明を受けること、フィルタリングソフトやOSの設定を行うことなどが、保護者の役割となります。

*青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律

フィルタリングを上手に活用しましょう！

「子供を信頼しているから」という理由で解除してしまう保護者もいるようですが、「信頼」と「安全」とは別問題です。また、「子供が使いたいサービスやアプリが使えない」という理由も多いようですが、フィルタリングを外さなくとも、使いたいサービスやアプリを個別に利用許可することができます。店頭で初期設定する場合、子供にパスワードが伝わらないように気をつけてください。当然、これは、ご家庭で設定する場合も一緒です。誕生日や記念日などの想像しやすいパスワードもNG。設定変更や詳細設定はパソコンからでも手軽にできますが、パスワードの管理は必ず保護者が行ってください。

導入されていない機器を使う場合はインストールする

店頭やご家庭で初期設定を行う

フィルタリングのレベルを選択

必要に応じて詳細設定を行う

成長に合わせ設定を変更！



NTTdocomo、au（KDDI）、SoftBankは「あんしんフィルター」という名称で提供。その他、フィルタリングアプリはたくさんあります。スマホだけでなく、ゲーム機やタブレット、子供に貸すスマホ、おさがりのスマホ等にも、フィルタリングを！

【注意】いずれの機器も、各社提供サービスを使う、PCと同じものを使う、その他任意のフィルタリングを使う等、保護者の方が適切にご判断ください。

出典：総務省発行「インターネットトラブル事例集（2018年度版）」

卒業・進学・新入学時期の非行・被害を防ぎましょう

○飲酒・喫煙、深夜外出は非行への第一歩

飲酒・喫煙は、非行グループへのつながりを強め、やがて次の段階へとエスカレートしていく前兆です。

また、深夜外出に伴い、青少年の命が奪われる悲惨な事件が発生しています。スマートフォン等の普及により、いつでも連絡が取れるからといって安心してはいけません。

○万引き、自転車盗等の初発型非行も犯罪

万引きや自転車盗等は犯罪であり、絶対に行ってはならないことを再度教えましょう。

また、お子さんの持ち物にはいつも気を配り、見慣れない物を持っていたらお子さんに確かめましょう。